

目標達成計画

作成日: 令和2年 4月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	グループホームの取り組みや入居者の現状が全てのご家族に伝わっていない。	全てのご家族に、グループホームで行っていることや入居者の状態を知っていただく。運営推進会議に参加して下さるご家族を増やす。	2~3ヶ月に一度、グループホームでのイベントや入居者の日常生活を記した手紙と写真を同封して、全てのご家族に発送する。	3ヶ月
2	49	外出の機会が少ない。	感染症、暑さ、寒さに気を付けて、外出の機会を増やす。ご家族にお願いして、外出の機会を作っていただく。	グループホームの少人数という特性を活かして、買い物・ドライブ・外食・散歩等に出かける。	12ヶ月
3	36	接遇の向上	全ての職員の接遇の向上を目指す。職員同士が、注意し合える環境を作る。	入居者・ご家族に対する言葉遣いに気を付ける。自分の発した言葉が、相手にどう伝わるかを考える。職員同士での言葉遣いにも注意する。	12ヶ月
4	26	モニタリングやケアプランの作成が遅れがちになっている。	決められた時期に、モニタリング・ケアプランの作成を終了させる。	モニタリング・ケアプラン作成の時期を表にし、担当者にわかりやすいようにする。管理者が、進捗状況を把握する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。